



いとう ひろよし
伊藤 廣好 議員

舟形中学校の 移転新築検討は熟議を 今後様々な視点から検討を進める



今後、移転が検討される舟形中学校

【質問】 昨年12月定例会の一般質問で令和13年度を移転目標に舟形中学校移転新築検討委員会を設置し検討すると答弁をされました。

移転目標年度の舟中生徒数は67名、舟小児童数は108名に減少見込み、移転から6年後の令和19年度には舟中生徒数は45名に減少見込みです。

「義務教育一貫校の検

【質問】 討委員会」にすべきではないか。

【教育長】 当町が目指す戦略人口を基として1学年30名程度規模の学習空間とする学校施設を創造する基本構想案としており、現時点では「義務教育一貫校」という言葉に規定せず、様々な視点からの検討を進めていきたいと考えております。

【町長】 第7次舟形町総合発展計画において目標指標（KPI）を設定しており、計画の最終年度である令和11年度末に地元定着人数を5人と設定しております。関係各課が連携した受け入れ体制と

【質問】 当町の地域課題の掘り起こし、そして新たな事業を生み出し、地域活性化を図るため、今後の計画方針と受け入れ体制は。

【町長】 第7次舟形町総合発展計画において目標指標（KPI）を設定しており、計画の最終年度である令和11年度末に地元定着人数を5人と設定しております。関係各課が連携した受け入れ体制と

【質問】 舟形小学校の施設を有効活用して、義務教育学校設立を考えるべきではないのか。

【教育長】 中学校が必要とする施設は広さが違うため、大規模改修が必要となり、舟形小を活用することは、物理的に難しいと考えております。

【質問】 舟形小学校の施設を有効活用して、義務教育学校設立を考えるべきではないのか。

【教育長】 中学校が必要とする施設は広さが違うため、大規模改修が必要となり、舟形小を活用することは、物理的に難しいと考えております。

【町長】 退任後の定住と生活のため、起業や就職について、着任1年目、2年目、3年目と段階的に隊員本人の夢や希望と現状をすり合わせしながら関係各課の連携により打

【質問】 隊員の夢を叶えるための支援の充実を。

【町長】 退任後の定住と生活のため、起業や就職について、着任1年目、2年目、3年目と段階的に隊員本人の夢や希望と現状をすり合わせしながら関係各課の連携により打



元地域おこし協力隊員が起業したレストラン ラ・テール
(舟形若あゆ温泉・あゆっこ村)

【質問】 移住・定住や二地域居住相談窓口として町にコーディネーター配置が必要ではないか。

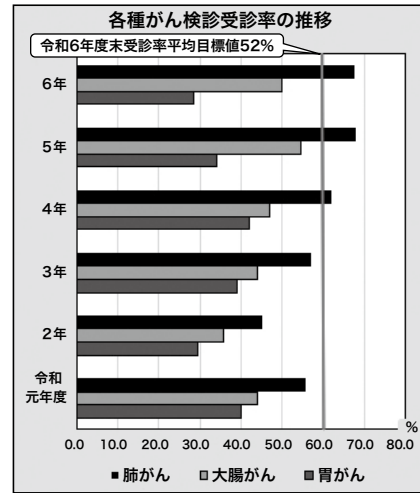
【町長】 町内で移住・定住の相談窓口の適任者がいれば集落支援員として考えたいと思います。



あらさわ ひろみつ
荒澤 広光 議員

健康診断受診率・現状と新規目標値は

早期発見・治療に向けてフォローする



【質問】 町の死因のトップが、がんであるが特定健康診断受診率目標値65%、がん検診平均受診率52%と設定しているが、がん検診に関しては、がんの各項目ごとに目標値を設定すべきではないのか。

【町長】 特定健康診断率は、令和7年1月末現在で60%となっています。5種類のがん検診平均受診率は42・1%となっており、

【質問】 令和7年度から新たに充実される、保健サービスの内容をお伺いします。

【町長】 精密検査を勧められた方に対する精密検査受診率の目標値も設定し、早期発見・早期治療のためフォローしていきます。

【質問】 豪雨災害復旧の計画は復旧スケジュールを提示する

【町長】 昨年の豪雨により、町内各所で甚大な被害が発生し、令和7年度は本格的に復旧工事が始まる年になると思われます。各地区ごとに災害復旧工

【町長】 新たに節目年齢人間ドックの対象に、66歳の方を追加し範囲を拡大します。さらにワンコインがん検診に前立腺がん検診の追加、また腹部超音波検査を個人負担1000円で受診できる費用の助成、65歳以上のインフルエンザ予防接種助成費用を拡大するなどして健康寿命の延伸を推進してまいります。



通行止めが続く大石田畑線（瀬脇地内）

【町長】 農地・農業用施設

【町長】 農地・農業用施設

7年度の作付けが、広範囲にわたって困難な箇所。関係者に対しては、適時打ち合わせを行っています。また主要地方道大石田畑線については、治山工事の工程や仮設計画がはつきりした段階で、県と調整を行い復旧内容やスケジュールを提示したいと考えております。